

第21回（平成26年度第3回）福島県原子力発電所の  
廃炉に関する安全監視協議会現地調査実施要領

平成26年 6月 2日  
福島県原子力発電所の廃炉  
に関する安全監視協議会

1 目 的

福島第一原子力発電所において、地下水バイパスの運用状況、多核種除去設備（ALPS）のトラブル再発防止対策、凍土遮水壁の安全性について確認することを目的として現地調査を実施する。

実施に当たっては、廃炉監視に関する本協議会の活動を県民に広く周知するため、県政記者クラブ加盟各社に同行取材を案内する。

2 日 時

平成26年6月2日（月）9時30分～14時00分

3 場 所

東京電力(株)福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町）

4 出 席 者

- (1) 廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、県生活環境部、関係市町村）
- (2) 説明者 東京電力(株)

5 調査内容

(1) 調査項目

- ア 地下水バイパスについて
- イ 多核種除去設備（ALPS）について
- ウ 凍土遮水壁について

(2) 現場確認

- ア 地下水バイパス設備  
（排水口、免震重要棟、一時貯水タンク、排水配管、現場制御盤）
- イ 多核種除去設備（ALPS）
- ウ 凍土遮水壁実証試験現場

以上